



2024年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年12月7日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO兼COO (氏名) 野村秀輝
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理グループ統括 (氏名) 齋藤高広 (TEL) 03-6805-9785
四半期報告書提出予定日 2023年12月14日 配当支払開始予定日 2024年1月15日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第2四半期の連結業績(2023年5月1日~2023年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第2四半期	14,341	13.4	766	50.3	780	52.6	527	51.2
2023年4月期第2四半期	12,644	10.2	509	△13.0	511	△12.4	348	7.8

(注) 包括利益 2024年4月期第2四半期 527百万円(42.9%) 2023年4月期第2四半期 368百万円(7.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第2四半期	41.72	—
2023年4月期第2四半期	27.62	—

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第2四半期	12,709	6,645	50.9
2023年4月期	12,063	6,244	50.0

(参考) 自己資本 2024年4月期第2四半期 6,471百万円 2023年4月期 6,036百万円

四半期連結業績に関する注記

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年4月期	—	12.00	—	—	—
2024年4月期(予想)	—	—	—	6.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

1. 配当の状況に関する注記

2. 2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2024年4月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の2024年4月期の1株当たり期末配当金は12円となります。

3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日~2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,158	14.1	1,561	15.0	1,563	15.4	943	9.0	149.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) ー 、除外 ー 社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年4月期2Q	12,752,000株	2023年4月期	12,752,000株
2024年4月期2Q	101,502株	2023年4月期	119,936株
2024年4月期2Q	12,639,878株	2023年4月期2Q	12,625,448株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

発行済株式数に関する注記

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後、緩やかに回復してきております。一方で引き続き各種原材料・エネルギー価格の高騰、円安の進行等により物価高が止まらず、個人消費を中心に経済活動に制限がかかり、先行きが不透明な状況が続いております。

美容サロン業界におきましては、店舗間競争の激化と慢性的な人手不足という課題に直面しているものの、コロナ禍後の景気回復基調に合わせて、緩やかではありますが来店客数・客単価の回復が続いております。

そのような状況下、当社グループでは利便性の向上や提供サービスの強化といった施策による需要掘り起こしと共に、コストコントロールや海外事業の見直しなど、収益改善にも努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は14,341,920千円（前年同期比13.4%増）、売上総利益は3,628,485千円（前年同期比12.8%増）、営業利益は766,072千円（前年同期比50.3%増）、経常利益は780,741千円（前年同期比52.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は527,314千円（前年同期比51.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、および各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン等向けに提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続き商品ラインナップの拡充とECサイトUI/UXの着実な改善と進化を継続することを通じて、美容商材流通のプラットフォームとしての役割強化に注力してまいりました。KPIとしては、美容サロンによる当社ECサイト継続利用が増えており、アクティブユーザー数、ロイヤルユーザー数（70,000口座を突破）、注文件数が大きく増加致しました。一方で、前期から続く円安および原材料・輸送費高騰による原価率の上昇という厳しい外部環境にも直面しておりますが、販売価格見直しの適宜実施と、スケールメリット創出による仕入れ価格の低減や各種コスト削減による販管費の圧縮によって、利益率の確保に努めてまいりました。

この結果、物販事業全体としての売上高は11,889,907千円（前年同期比14.3%増）、セグメント利益は688,149千円（前年同期比49.5%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・名古屋・大阪・福岡の五拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。当第2四半期連結累計期間では、平均案件単価が落ち込んだ一方で、美容サロン、クリニックを中心に受託案件数を伸ばすことが出来ました。

しかしながら、いくつかの大型案件の売上計上月が第3四半期にずれ込んだ影響もあり、当事業の売上高は1,541,306千円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は63,194千円（前年同期比2.1%減）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給等の各種ソリューションサービスを、各専門WEBサイトと全国主要都市のショールームと法人営業部隊、各グループ会社を通して提供しております。また、当社取引先であるメーカー・ベンダー向けに販売促進サポートを行う、マーケティング支援サービスも新たに提供を始めております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、各種サービスのうち、店舗リース、提携ビジネスカード、損害保険、マーケティング支援を大きく伸ばすことが出来ました。この結果、当事業の売上高は910,707千円（前年同期比24.7%増）、セグメント利益は112,513千円（前年同期比48.2%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.7%増加し、10,102,852千円となりました。これは、売上債権の減少があったものの、棚卸資産の増加があったことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12.2%増加し、2,606,578千円となりました。これは、有形固定資産と無形固定資産の減少があったものの、投資その他の資産の増加があったことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、4,576,600千円となりました。これは、主に賞与引当金の増加によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.7%増加し、1,487,695千円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて6.4%増加し、6,645,136千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少126,320千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加527,314千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月8日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,383,182	3,396,811
受取手形及び売掛金	2,662,700	2,559,624
リース投資資産	188,990	203,097
営業投資有価証券	179,659	158,930
商品及び製品	2,562,505	2,907,381
仕掛品	106,504	236,787
前渡金	162,193	161,424
その他	509,071	491,842
貸倒引当金	△14,883	△13,046
流動資産合計	9,739,925	10,102,852
固定資産		
有形固定資産	377,523	351,249
無形固定資産		
ソフトウェア	308,956	305,027
のれん	277,712	242,774
その他	23,539	26,563
無形固定資産合計	610,208	574,365
投資その他の資産	1,336,161	1,680,963
固定資産合計	2,323,893	2,606,578
資産合計	12,063,819	12,709,431
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,752,390	1,930,589
短期借入金	15,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	454,237	515,983
未払金	413,393	342,133
未払法人税等	321,576	298,706
前受金	632,438	750,882
賞与引当金	79,629	282,387
その他	794,649	450,918
流動負債合計	4,463,314	4,576,600
固定負債		
長期借入金	769,311	852,482
退職給付に係る負債	5,865	5,620
契約負債	212,833	237,467
資産除去債務	65,163	65,193
その他	302,699	326,931
固定負債合計	1,355,871	1,487,695
負債合計	5,819,186	6,064,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	771,686	798,984
利益剰余金	4,586,557	4,987,551
自己株式	△95,247	△80,608
株主資本合計	6,031,381	6,474,312
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,389	△2,322
その他の包括利益累計額合計	5,389	△2,322
非支配株主持分	207,862	173,146
純資産合計	6,244,632	6,645,136
負債純資産合計	12,063,819	12,709,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2023年10月31日)
売上高	12,644,593	14,341,920
売上原価	9,428,189	10,713,434
売上総利益	3,216,403	3,628,485
販売費及び一般管理費	2,706,543	2,862,413
営業利益	509,860	766,072
営業外収益		
受取利息及び配当金	507	4,051
為替差益	3,103	8,526
受取手数料	2,077	5,136
債権譲渡益	—	3,682
その他	5,801	1,658
営業外収益合計	11,490	23,055
営業外費用		
支払利息	2,450	3,429
貸倒引当金繰入額	4,000	—
チャージバック損失	720	3,718
その他	2,600	1,238
営業外費用合計	9,770	8,386
経常利益	511,580	780,741
特別利益		
固定資産売却益	46,431	—
特別利益合計	46,431	—
特別損失		
投資有価証券評価損	3,291	—
関係会社株式売却損	—	27,737
特別損失合計	3,291	27,737
税金等調整前四半期純利益	554,719	753,004
法人税、住民税及び事業税	252,163	281,345
法人税等調整額	△57,805	△61,017
法人税等合計	194,357	220,327
四半期純利益	360,362	532,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,706	5,361
親会社株主に帰属する四半期純利益	348,655	527,314

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	360,362	532,676
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8,566	△5,526
四半期包括利益	368,928	527,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,992	519,603
非支配株主に係る四半期包括利益	13,936	7,546

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	554,719	753,004
減価償却費	110,715	88,111
のれん償却額	48,569	34,937
投資有価証券売却損益及び評価損益 (△は益)	3,291	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	27,737
引当金の増減額 (△は減少)	214,481	231,960
受取利息及び受取配当金	△507	△4,051
支払利息	2,450	3,429
有形固定資産売却損益 (△は益)	△47,067	△472
売上債権の増減額 (△は増加)	△196,971	101,998
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△478,105	△555,295
仕入債務の増減額 (△は減少)	92,484	180,256
前渡金の増減額 (△は増加)	40,637	△1,474
未払金の増減額 (△は減少)	△119,244	△67,041
前受金の増減額 (△は減少)	64,269	124,924
その他	△83,552	△278,555
小計	206,168	639,470
利息及び配当金の受取額	507	4,051
利息及び保証料の支払額	△2,337	△3,451
助成金の受取額	285	329
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△227,575	△288,645
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,951	351,756
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,100	△10,500
定期預金の払戻による収入	16,200	24,450
有形固定資産の取得による支出	△6,783	△6,933
有形固定資産の売却による収入	187,636	472
無形固定資産の取得による支出	△64,650	△55,894
投資有価証券の取得による支出	—	△900
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	1,334
敷金保証金の差入による支出	△65,025	△293,695
敷金保証金の回収による収入	5,344	4,598
その他	46	674
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,667	△336,393
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△10,000	△10,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△307,046	△255,083
リース債務の返済による支出	△2,762	△1,800
配当金の支払額	△100,987	△126,197
非支配株主への配当金の支払額	△5,632	△8,460
非支配株主からの払込みによる収入	—	240
自己株式の取得による支出	△66	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△426,495	△1,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,636	13,519
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△373,142	27,579
現金及び現金同等物の期首残高	2,670,989	3,362,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,297,847	3,390,211

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	4,333,188	—	—	4,333,188	—	4,333,188
化粧品等	5,790,488	—	—	5,790,488	—	5,790,488
金属スチール家具	280,295	—	—	280,295	—	280,295
その他	—	1,510,477	730,142	2,240,620	—	2,240,620
顧客との契約から生じる収益	10,403,972	1,510,477	730,142	12,644,593	—	12,644,593
外部顧客への売上高	10,403,972	1,510,477	730,142	12,644,593	—	12,644,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,455	14,801	8,375	36,631	△36,631	—
計	10,417,427	1,525,279	738,517	12,681,225	△36,631	12,644,593
セグメント利益	460,341	64,579	75,906	600,827	△90,967	509,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△90,967千円には、セグメント間取引消去14,404千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△105,371千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	4,722,244	—	—	4,722,244	—	4,722,244
化粧品等	6,930,072	—	—	6,930,072	—	6,930,072
金属スチール家具	237,589	—	—	237,589	—	237,589
その他	—	1,541,306	910,707	2,452,013	—	2,452,013
顧客との契約から生じる収益	11,889,907	1,541,306	910,707	14,341,920	—	14,341,920
外部顧客への売上高	11,889,907	1,541,306	910,707	14,341,920	—	14,341,920
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,953	1,708	2,224	12,886	△12,886	—
計	11,898,861	1,543,014	912,931	14,354,806	△12,886	14,341,920
セグメント利益	688,149	63,194	112,513	863,856	△97,784	766,072

(注) 1. セグメント利益の調整額△97,784千円には、セグメント間取引消去13,196千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,981千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。